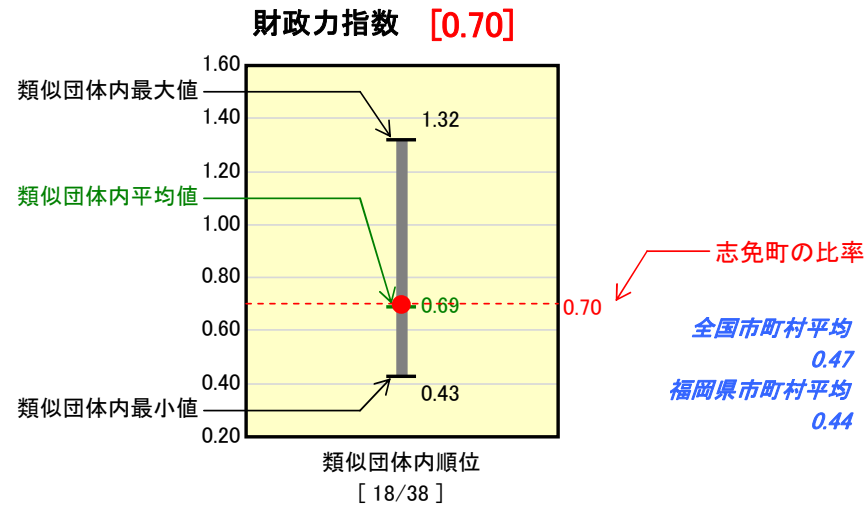


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

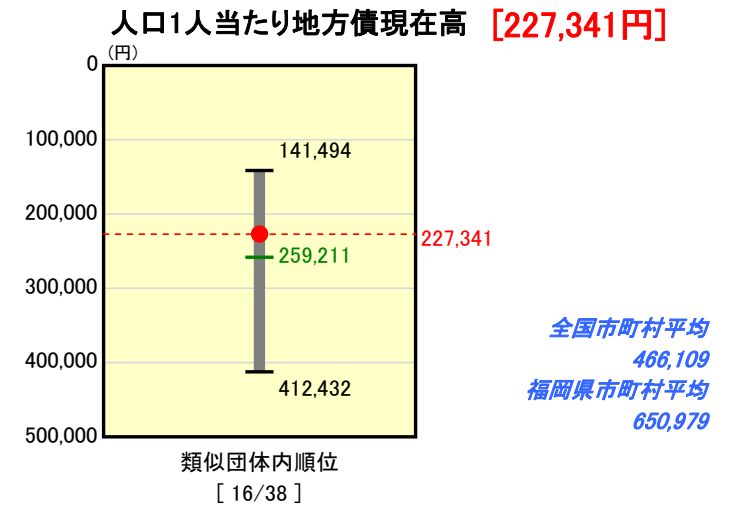
## 福岡県 志免町

人口	40,421 人(H17.3.31現在)
面積	8.70 km <sup>2</sup>
歳入総額	10,345,980 千円
歳出総額	9,874,595 千円
実質収支	471,385 千円

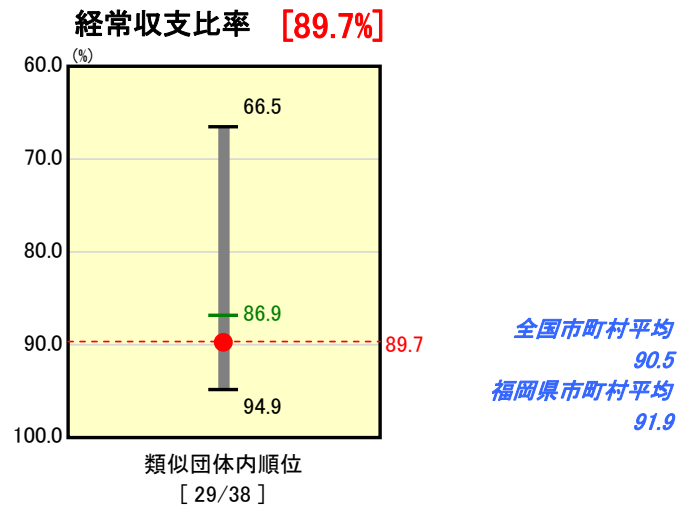
### 財政力



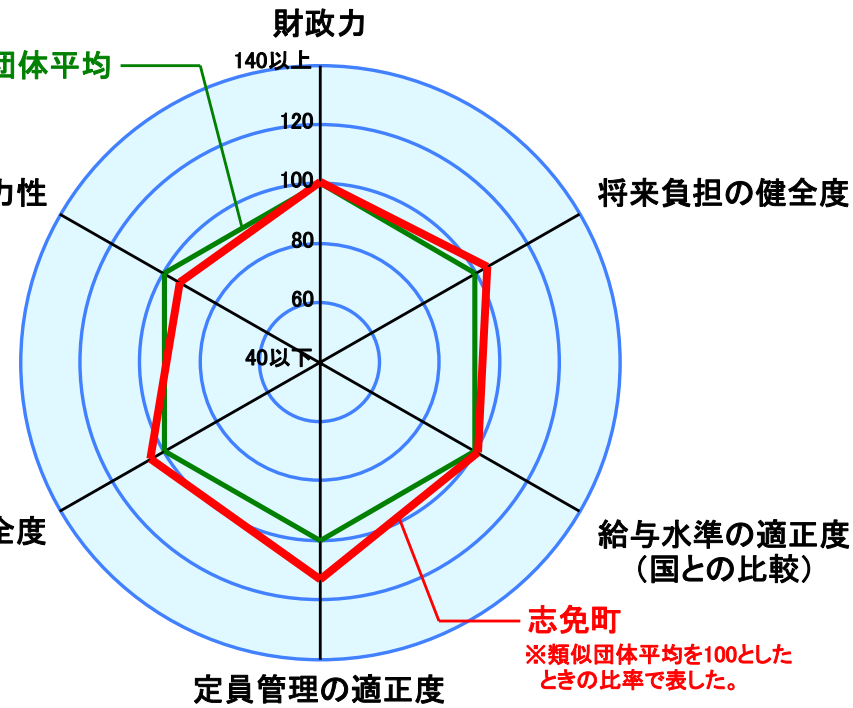
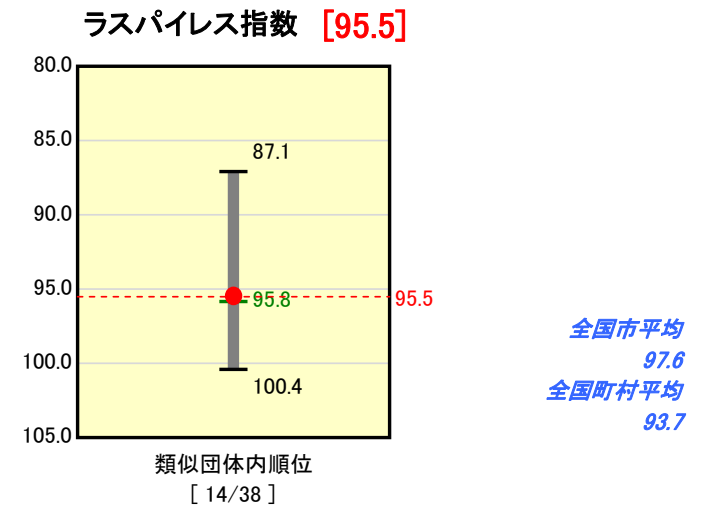
### 将来負担の健全度



### 財政構造の弾力性

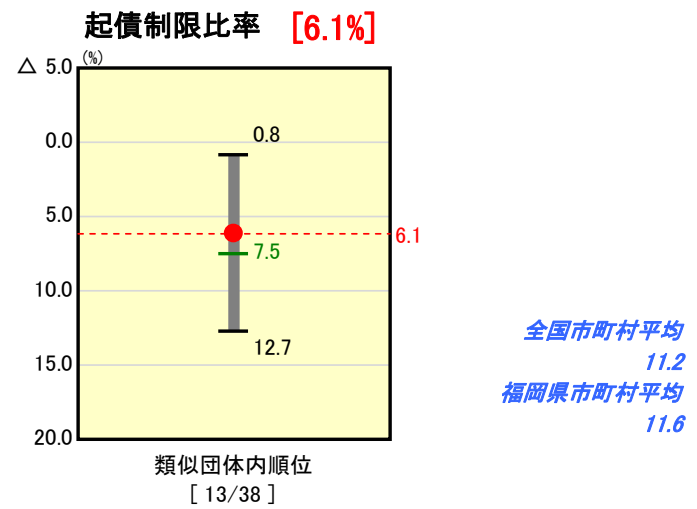


### 給与水準の適正度(国との比較)

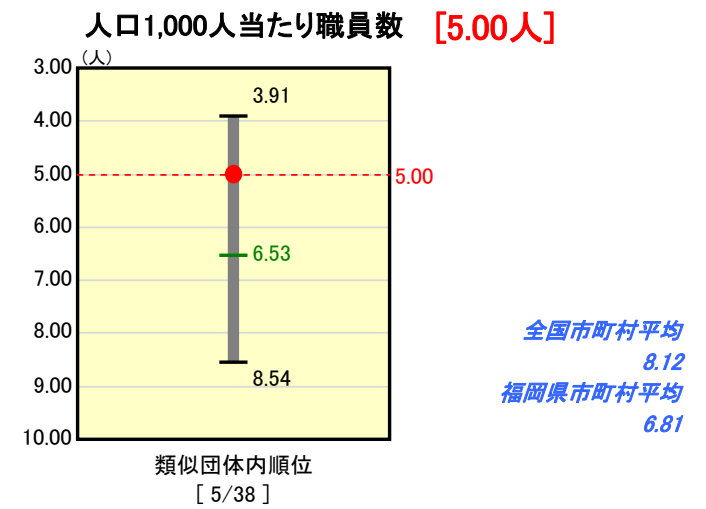


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



### 分析欄

○財政力指数  
ここ3年連続した伸びを見せている。平成16年度は0.70となっており、類似団体平均とほぼ同じである。平成16年度から、徴収嘱託員を1名から2名に増員するとともに、税務課だけでなく他課と連携して夜間徴収や差し押さえなど、税徴収率の向上への取組の成果により、今後も財政力は向上していくと思われる。また、平成16年度より補助金改革、平成17年度より町長及び三役の給料カット(3%)を行い、また、退職者不補充等による職員数削減により財政健全化に努める。

○経常収支比率  
類似団体を若干上回っている。年々、上昇傾向であり、その理由として国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、下水道事業特別会計、介護保険広域連合への繰出しが増加しているのが、主な要因と考えられる。現在、行政評価システムを導入し、事務事業評価を行っているところであり、その結果により事務事業の抜本的見直しを行っていく計画である。

○起債制限比率  
類似団体を下回っており、安定的に推移している。元利償還金は、平成18年度をピークに減少に転ずるものと見込まれるが、今後も起債に頼らない財政運営を行っていく必要がある。

○人口1人当たり地方債残高  
平成14年度に中学校給食棟、平成15年度に総合福祉施設の大型施設の建設による地方債を発行したが、それでも類似団体を下回っており、比較的良質な状況にある。新規の起債発行を抑制するような財政運営を行っていく。

○ラスパイレス指数  
旧来からの給与体系により、大学卒の者のラスパイレス指数を中心に国家公務員を下回っており、その水準は類似団体とほぼ同等である。平成18年度以降の給与構造の見直しにより、年功的な給与構造から、より職務・職責に応じた構造への転換を図り、さらに諸手当等に関しても再点検を実施し、改善すべき点は改善し、時間外勤務手当も縮減を図っていき、より一層の給与の適正化に努める。

○人口1,000人当たり職員数  
保育園や学校給食等の事業について、民間委託等を視野に入れ退職者の補充を安易に行わず、一般職についても新規採用の抑制を実施してきたことにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後も事務事業評価を実施し、各事務事業の必要性を見極め、業務における適正な人員の配置を行うこと等により、定員の適正管理に努める。